



5月の園だより



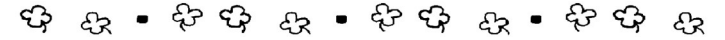
社会福祉法人尚徳福祉会

末長こぐま保育園

2022.5

楽しみにしていた連休が始まりました。ですが私は毎回、連休後に「だらだらしちゃったな・・・」と少し反省するので今回は目標を2つ決めました。1つ目は「映画を観まくる」、2つ目は「普段つくらない料理をつくる」です。映画はスパイ・アクション系が大好きですが今回は少し苦手なホラー系にチャレンジする予定です。何かおすすみがあれば是非、声をかけてください。料理は早速、油揚げを使った福袋（油揚げの袋の中に具材を詰めて煮たもの）をつくってみましたが、映画を観ながらだったので火を止めやすれ焦がしました。失敗はしましたがチャレンジしたということで心は少々満たされています。

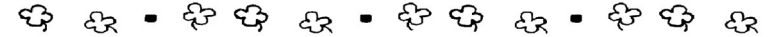
みなさんはどんな連休を過ごされるのでしょうか。休み明けの子どもたちの会話が楽しみです。



お知らせ

・令和4年4月1日から個人情報保護法が改正されました。今までは配布している毎月のお便りにお誕生児の氏名を記載していましたが氏名のみであっても社会通念上、特定の個人を識別することができるものと考えられ、個人情報に該当すると考えられます。そのため今後は配布するお便りに子どもの氏名を記載しませんのでご了承ください。

・コロナ対応で保護者の方と話す機会や時間が少なくなりました。その分、掲示物が増えています。掲示物は子どもの写真や氏名がのっていないものであれば写真を撮ることは可能です。子どもの写真や氏名がのっているものは写真に撮らないようお願いいたします。



今回は食を通して子どもたちの育ちを考える『食育』について、上越教育大学大学院教授 野口孝則さんのコラムを紹介します。

保育における食育の基本は「毎日の食事」

保育における食育の基本は「毎日の食事」だと考えています。毎日違う食材を選び、様々な調理法を組み合わせながら、子どもたちの成長・発育・発達に合わせて調理し、的確な食器・食具に盛り付けていく過程の中で、とてもたくさん「子どもたち（喫食者）への想い（愛情）」が込められていることでしょう。

保護者の食事に関する悩みとして「保育園では食べるのに家では食べない」ということが挙げられます。ここで大切な考え方は、食事はただ提供すればいいのではなく、その日の子どもの様子を伺いながら、食事への興味が高まる言葉をかけながら、同じ料理と一緒に食べて「おいしいね」の言葉を共有・共感することによって食べたい気持ち（食欲）につなげていくことだと思います。子どもへの食育では高価な料理は必要ありません。一緒に食事ができることを喜びとして感じる経験を積み重ねることが最も大切なことだと考えています。

保育における子どもたちへの食育実践の基本的な考え方として、保育関係者は食事が提供されていることを「当たり前（当然・常識）」のこととせず、「ありがたい」ことと思える大人でありたいですね。そして、毎日の食事を大切にすることを子どもたちに伝えていきましょう。

今月の予定

6日（金）園医健診0, 1歳

英語であそぼう（幼児）

12日（木）避難訓練

14日（土）懇談会

18日（水）サッカー教室（幼児）

20日（金）英語であそぼう（幼児）

26日（木）誕生会

